

特別決議

今村雅弘前復興大臣の議員辞職を求めると共に

安倍首相の任命責任を問う

今村雅弘復興大臣は4月25日、自民党二階派パーティーで講演し、東日本大震災の被害に関し「東北で良かった」などと、またも被災地、被災者を傷つける暴言を發した。今村復興大臣は、4月26日にその責任を取って復興大臣を辞任したが、それで済む問題ではない。

そもそも、今村復興大臣は、福島県から自主避難している県民に対し「福島に帰れないのは本人の責任」「ふるさとを捨てるというのは簡単」、また福島県の風評被害に対し「生産者の努力がまだまだ足りない」などと、たび重なる暴言を繰り返してきたものである。

さらに今回の暴言は、岩手、宮城、福島の被災県のみならず、東北全体を差別する発言であり、復興に向け必死に努力している被災者と東北6県の県民全てに対する侮辱である。復興大臣としてはもちろん、国会議員としての資格もないことは明らかである。即刻、議員辞職を求めるものである。

同時に、このような人物を復興大臣に任命した安倍晋三首相の責任も大きく問われるものである。

日本列島は、地震、津波、台風、火山など様々な自然災害の危険に常にさらされている。また、福島原発事故のように複合的災害の危険性もはらんでいる。誰もが災害を身近に感じており、「東北の方で良かった」などと他人事のような発言は、国民から支持されるはずもない。改めて、被災地、被災者に寄り添った復興支援を強く求めるものである。

2017年 5月 1日

第88回メーデー岩手県中央集会 参加者一同